

# 令和4年度 第1回 評議会資料—4

## 協会けんぽ調査研究フォーラムについて



# 協会けんぽ 調査研究 フォーラム

The 8th Annual Forum of  
Health Insurance Research

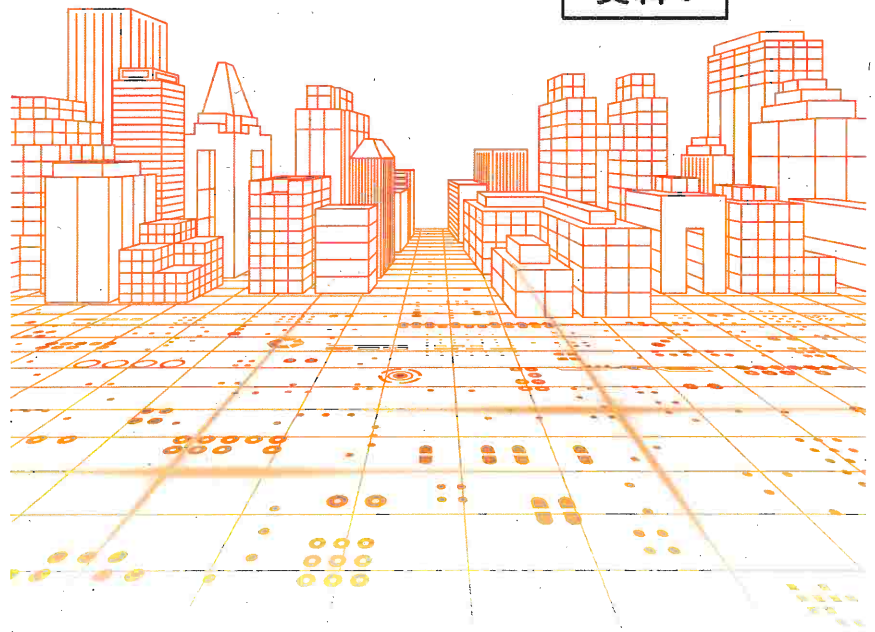
持続可能な  
医療保険制度を  
目指して

2022.6.8(水)

13:00~16:05終了予定  
(受付12:00開始)

※YouTube配信予定

会場／一橋大学 一橋講堂



## 開催趣旨

今後の日本の人口の高齢化に鑑みると、全国健康保険協会(協会けんぽ)においては、加入者をはじめとした国民の健康を守るとともに、医療保険制度の持続可能性の確保を図る必要があります。そのためには、効率的かつ質の高い保健医療を実現することが不可欠であり、医療費適正化や効果的な保健事業の実施に向けた調査研究を行うことが重要となっています。

このため、協会けんぽでは、加入者約4,000万人のビッグデータ(レセプトデータ、健診データ等)を使用し、令和2年度から外部有識者を活用した委託研究を行うとともに、本部・支部において調査研究を実施しています。

本年の調査研究フォーラムにおいて、第1部では、外部有識者を活用した委託研究の各班の研究代表者から中間報告を行います。第2部では、協会けんぽの本部・支部で近年実施した調査研究の成果を発表します。

## 第1部

### 「外部委託研究」各班の中間報告

1. 慶應義塾大学 勝川 史憲 教授  
『機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と特定保健指導の効果判定に関する研究』
  2. 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
グローバルヘルス政策研究センター 磯 博康 センター長  
『生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による予防効果に関するコホート研究』
  3. 上智大学 中村 さやか 教授  
『医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明：健康状態と治療の質を考慮した医療費適正化を目指して』
  4. 京都大学 福間 真悟 特定准教授  
『エビデンスに基づく保険者機能の強化：ラーニング・ヘルスシステム』
- [コメンテーター] 法政大学 菅原 琢磨 教授  
[進行] 全国健康保険協会 岡村 智教 理事

## 第2部

### 協会けんぽ調査研究報告

1. 宮城支部  
要治療者の受診行動の有無による医療費推移等に関する研究
2. 広島支部  
糖尿病治療中断者の背景及び再受診を促す方法の考察
3. 福岡支部  
特定保健指導未実施者への健診前ナッジ通知の効果
4. 本部  
協会けんぽの薬剤費の構造と薬価改定の影響に関する分析  
[講評] 東京大学 井出 博生 特任准教授



全国健康保険協会

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

# 申込方法

参加ご希望の方は、  
協会けんぽホームページからお申込みください。  
<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ



※お申込み多数の場合は、お断りする場合があります。

# 会場のご案内

〒101-8439  
東京都千代田区一ツ橋2-1-2  
学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂

- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線  
『神保町駅』A8、A9出口から徒歩4分
- 東京メトロ東西線  
『竹橋駅』1b出口から徒歩4分



## お問い合わせ先

全国健康保険協会(協会けんぽ)本部  
調査分析・研究グループ

〒160-8507 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 6F

TEL/03-6680-8476

FAX/03-6680-8899

